

< 発行者 >

航空安全推進連絡会議 03-3742-9359

航空労組連絡会 03-3742-3251

日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770

http://www.kohkuren.org/

ソラシドは組合
差別をするな!
KLMは無期雇用
転換逃れするな!

フエニックス

PHOENIX

賃上げ、労働条件改善、人員不足解消を

好決算予想される航空各社

高稼働の是正・勤務改善急售

賃上げを始めとした労働条件向上をめざす19春闘。航空各組は2月中旬には要求を決め、その後労使交渉が本格化していきます。職場からは、賃金引上げはもとより、高稼働による労働強化の是正や勤務改善を求

める声が強まっています。昨年、陸上自衛隊のイラク派遣時の日報隠蔽、森友学園の国有地売却問題、財務省の文書改ざん、加計学園の獣医学部新設、働き方関連法をめぐる不適切アタなど、安倍政権をめぐる不祥事が相次ぎましたが、議席の数を背景に、働き方関連法や外国人労働者を拡大する入管法の改正、沿岸漁業に企業者の参入を認める水産改革法、コメ・大豆など自治体が品種改良してきた種子法廃止法、水道の民営化法などを強行採決しました。新たに、厚労省が所



管する、毎月勤務統計の不正調査が明らかになりました。影響は2千万人におよびます。1月28日から始まる通常国会では不正調査の真相究明、2019年度の予算案が審議されます。

安倍政権7年間の経済政策により、17年度の大企業、内部留保は460兆円(財務省発表。前年度比3兆円増)に膨らんでいます。貧困と格差も問題です。ワーキングプアと言われる年収200万円未満は、12年連続で1千万人を超えており、消費支出も落ち込んでいます。安倍首相は年頭所感で「景気回復の温かい風が全国津々浦々に届き始める」と言いましたが、多くの国民にその実感はありません。



2020年春から1日52便増便になる羽田空港



連合は、賃上げの継続による「底上げ・底支え」格差是正とすべての労働者の立場にたつた働き方の実現を同時に推進し、働き方も含めた「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」に取り組む。人的投資の促進「マイセン」・ワークの実現「包摂的な社会の構築」・経営者の自律的成長をめざすと、賃上げは「どの程度

を基準」とし、定期昇給を含め4%程度の引き上げを求めています。法定最低賃金は時給1千円をめぐります。全労連は月額2万5千円以上、時給1500円引上げ、誰もが8時間働けば人間らしい暮らしの実現などの要求を掲げています。積み上げられている内部留保で財源は十分と主張しています。航空運賃は賃金・諸手当の改善、時短・休日増など労働者や諸労働条件改善、労働者・労働組合に関する権利、すべての争議の解決などを求めています。

航空は旺盛な旅客に支えられ、大手2社に加え、中堅航空会社・LCCも19年3月期決算は好業績が予想されています。大手2社の2018年度中間決算時点の内留保(利益剰余金+退職給付債務+資本剰余金)はANA928.2億円(17年度中間87.4億円)、JAL1兆173.4億円(同1兆109.4億円)に積み増しています。エンジントラブルや自然災害があったものの、両社とも年度見通しは計画通りとしています。原油価格の下落が利益を押し上げることも予想されています。

働き方見直そう

航空は旺盛な旅客に支えられ、大手2社に加え、中堅航空会社・LCCも19年3月期決算は好業績が予想されています。大手2社の2018年度中間決算時点の内留保(利益剰余金+退職給付債務+資本剰余金)はANA928.2億円(17年度中間87.4億円)、JAL1兆173.4億円(同1兆109.4億円)に積み増しています。エンジントラブルや自然災害があったものの、両社とも年度見通しは計画通りとしています。原油価格の下落が利益を押し上げることも予想されています。

リソースが不足している。この3年間のCAの募集人数は日本航空約1500人、全日空約2000人になります。大量採用がなければ日々の運航維持にも影響を与えかねません。大量退職を断ち切るためには賃金・勤務の抜本的見直しと急務です。労働強化による健康被害も深刻です。外航では日本路線の見直しなどを背景に雇用問題も起きています。ソラシド

しっかり要求し

航空は旺盛な旅客に支えられ、大手2社に加え、中堅航空会社・LCCも19年3月期決算は好業績が予想されています。大手2社の2018年度中間決算時点の内留保(利益剰余金+退職給付債務+資本剰余金)はANA928.2億円(17年度中間87.4億円)、JAL1兆173.4億円(同1兆109.4億円)に積み増しています。エンジントラブルや自然災害があったものの、両社とも年度見通しは計画通りとしています。原油価格の下落が利益を押し上げることも予想されています。

が手薄になり、計画通りに整備が進んでいない実態があります。グランドハンドリングの人員不足も深刻です。JGS労組が行った18年未アンケートでは、約9割が「人員不足」と答えています。4月採用予定者を「研修生」として前倒し入社させ、計画員を満たしているのが現状です。羽田空港でANAのグランドハンドリングを行うANAエアポート

- 主な記事から■
- ▶ JCU組合員2名がアリタリア航空に雇止め撤回を求め労働審判は1月21日、東京地裁で円満解決しました.....2面
- ▶ 改正パート有期労働法が4月1日施行。正規と有期の不合理な待遇差は禁止.....2面
- ▶ JAL解雇争議-156カ所の旗開きに参加。解決に向け決意新たにがんばる.....3面
- ▶ ライオン航空CEOが世界最優秀の賞を獲得。ITF、エミレーツ航空社長に解雇争議の解決求める書簡.....3面
- ▶ 安全会議、利便性向上求め福岡空港長に要請.....4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail/honbu@kohkuren.org

立場の弱い側は立場の強い側からの要求に我慢を強いられがちです。2017年に米国で映画女優のアリッサ・ミサノ氏が「セクハラ被害を受けている人は声を上げて」とツイッターで呼びかけたのを契機に全世界に広がった「#MeToo」運動。セクハラにとまらずハラスメント撲滅の契機にも●働女性たちが会社の理不尽な対応に声を上げ、改善求めて何らかの行動に訴えるケースが増えています。客室乗務員なら誰でも入れる組合として活動するジャパン・キャビンクルー・ユニオン(JCU)。内外の航空各社で働く客室乗務員から多くの相談が寄せられています。「海外航空会社の場合は契約制として働く客室乗務員が多く、雇用問題で悩むCAからの相談が多い」と本会委員長。契約制という弱い立場では、会社側からの一方的な雇止めや契約期間見直しに泣く泣く従わざるを得なかった。しかし最近では、納得できないことは行動に打てるケースが増えています●行動も色々。団体交渉で改善を求めるケースもあれば裁判や労働委員会などの第三者機関で争うケースも。雇用問題で4社交渉するJCU。2社との交渉が解決しました。疑問におもった旨を上げ行動に出すことが要求実現への一歩。

安全会議だより 117

改善求め福岡空港長に要請

働く側からのアイデアなどを提案

通常ならば要請動はすでに終わっている昨年10月15日、福岡支社の福岡空港長交渉が行われま



鈴木福岡空港事務所次長に要請書を
手渡す小津福岡支部議長（手前右）

した。福岡空港への要請は5年ぶり。今年4月に民営化を控え、管制以外の業務はほとんど新運営

会社に移管される予定です。しかし、5年のプランクもあり、また福岡空港が大きく変化していく

なかで、現状の問題点を空港事務所側と共有し、意見交換を実施すること

は重要であるとの考えから要請を実施しました。日乗連との年末合同ア

ンケートでも多数意見が差がついて複雑による遅延については、「誘導

路の二重化、ヘリポートの移転、滑走路の増設以外

の対策はない」との回答。エプロンの水はけが悪いことや、誘導路標識

の国内線ターミナル前の

2017年10月、停電のため管制塔のレーダー

管制ができなくなった事象に対しては、「無停電電源装置の蓄電池を二系

統としたうえで点検の頻度を上げ、さらには今年

度内に設備全体を更新するという再発防止策が確認できました。

国内線ターミナル前の

誘導路の二重化にあつては、計画以前から、安全会議は安全かつ効率よい運用のためにアイデアを提供する用意があることを表明してきましたが、安全会議に何も知らされぬまま計画ができてしまつてしまつていま

した。交渉の場で改めてアイデアを披露したところ、先任管制官、運航情報員はじめ、先方の関心を大いに引くところとなりました。安全会議がプランナーとしても認知され、当初から参画させてもらえるよう、地道な活動を続けていくほかにあるべきです。民営化後は、新運営会社にも要請する必要があります。

安全はもとより、労働者が安心して働ける空港にする、そして世界中から飛来するパイロットや利用者にも使いやすい空港にしたい。この思いで今後

も活動していきます。

活動していきます。

活動していきます。

活動していきます。

活動していきます。

接する会の中小路会長

中労委で勝利命令必ず

第3回総会に124名参加

昨年12月19日、大阪市内の大阪労会館大会議室で「エミレーツ航空争議を支援する会」第3回総会・決起集会が開催されました。支援する会会員をはじめ、解雇闘争を支援する労働団体から124名が参加しました。集会は、ドレスコードの赤を彷彿させる、勇

気と元氣あふれる歌声の合唱からスタート。会場は外の寒さを吹き飛ばす熱気に包まれました。開会あいさつは、エミレーツ航空争議を支援する会の中小路会長が、「高裁の控訴取り下げにより全面解決かと思いきや、3名の職場復帰を拒む会社側の頑な姿勢に

よって復帰を果たせていない。総会を契機に新たな決意で職場復帰に向け支援する会の役割を果たしていきたい」と力強く訴えました。

当該3名が所属するスカイネットワーク大阪支部・赤田支部委員長は、労働組合結成当時から、労働者の権利や団結権という概念を持ち合わせない中東外資系企業との交

渉の難しさや不誠実さ、これまでの取り組みを振り返り、現状と闘いの展望を報告しました。参加者は報告に頷きながら耳を傾けていました。当該3名はそれぞれ思いや感謝、そして「中央労働委員会では必ず勝利命令を勝ち取り職場復帰を果たす。今回の会は勝利報告集会とし、共に喜びを分かち合うまで頑張り抜きます」との強い決意を述べ、閉会しました。

**中労委勝利命令と職場復帰を早期に勝ち取る
エミレーツ航空解雇争議決起集会**

日時：2月4日
18:30～20:00

場所：大田区産業プラザP I O「D会議室」(6階)
京急「蒲田駅」下車、徒歩3分

当日はエミレーツレッドで総力結集
上着、マフラー、タオル等、赤色を身に付けご参加ください。

主催：スカイネットワーク (SNW)

ちびむす

早朝のラジオで、「まだまだ長い寒い夜が続く、なかなか明るくなりませんね。真冬だけ、近くの明るい春を探して行きませんか。ということで平日の休日に近くの公園を散歩しました。公園の樹木たちは春の気配はあるのだろうか、とながめると、秋にはあんなに黄色い見事だった銀杏の並木も剪定されて、まだまだ寒そうです。東京はからからと晴天が続く草木もちょっとかわいそうです。公園のトラックランでは、大小の犬たちが元気に走り回り、

ボカボカ夫気どころは大喜びです。幼稚園の子供たちも多生の中で鬼ごっこが楽しそう。まだ1月にして帰りに近所の神社に参りして引いたおみくじは、見事な「凶」をひきました。今が底なら、これから一年平凡な普通の暮らしをせよとしました。ちょっと春を感じたかなと思いついてのニュースを見てみると、札幌や東北地方は大雪の警報が出されてきました。同じ日本でも北国の生活の大変さは様々な面で想像以上でしょう。さあ、春闘の季節です。働きに見合った賃金や労働条件を改善するための要求は、みな切実です。

**串田孫一と仲間たちの珠玉のエッセイ集
小さな桃源郷**

池内紀編

冒険家、三浦雄一郎さんの南登山がマスコミで話題になりました。86歳なので、飛行機で登山するはずでしたが登りはじめたらドクターストップで頂上には行けなかったようです。さて、本紙の「ミニ」で話題になりました。山河を愛し、その人を愛し、生き物や語り、地球ではあるけど暖かいエッセイが33編掲載されています。読み応えがあります。

山の雑誌「アルプ」傑作

山河と人と生きものを
小聲で語りつづけた
伝説の山の雑誌「アルプ」

串田孫一と仲間たちの珠玉のエッセイ33編を精選
中小路会長 編集 中小路紀雄

読書のススメ

山の雑誌「アルプ」傑作集なので、男性の執筆者が多いですが、女性のエッセイも、篇篇物語った、地球ではあるけど暖かいエッセイが33編掲載されています。読み応えがあります。

山奥の湖に追放されたのだ。そう。最近の人気テレビで「つんと二軒家」という番組があります。これも小さな桃源郷をみんな求めて、そんな気がします。